

SHINWA LIBRARY NEWS

神戸親和女子大学附属図書館ニュース
Vol.13 (Nov. 1, 2003)



<http://www.kobe-shinwa.ac.jp/library/library.html>

目次

- 図書館カレンダー(1)
- 「吉原細見」のこと 小林 勇(総合文化学科教授)(2)
- 図書館利用のために(3)
- インフォメーションのページ(4)

図書館カレンダー 2003年11月~2004年4月

網掛けの日は休館日です。(日曜・祝祭日は休館です。)アンダーラインの日は17時閉館です。

11月						
月	火	水	木	金	土	
					1	
3	4	5	6	7	8	
10	11	12	13	14	15	
17	18	19	20	21	22	
24	25	26	27	28	29	

12月						
月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	
8	9	10	11	12	13	
15	16	17	18	19	20	
22	23	24	25	26	27	
29	30	31				

11月

- 11月8日(土) 休館(入試のため)
- 11月15日(土) 休館(大学祭のため)
- 11月29日(土) 休館(入試のため)

12月

- 12月24日(水)~26日(金) 17時閉館
- 12月27日(土)~1月5日(月) 冬期休館

1月

- 1月17日(土) 休館(センター入試のため)
- 1月29日(木)~31日(土) 休館(入試のため)

2月

- 2月23日(月)~27日(金) 17時閉館

3月

- 3月の開館日は17時閉館です。
- 3月3日(水) 休館(入試のため)
- 3月11日(木)~24日(水) 休館 曝書期間

4月

- 4月1日(木) 休館(入学式のため)
- 4月30日(金) 休館(6月6日開学記念日の振替休日)
- 4月2日(金)~7日(水) 17時閉館

2004年1月						
月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	
5	6	7	8	9	10	
12	13	14	15	16	17	
19	20	21	22	23	24	
26	27	28	29	30	31	

2月						
月	火	水	木	金	土	
2	3	4	5	6	7	
9	10	11	12	13	14	
16	17	18	19	20	21	
23	24	25	26	27	28	

3月						
月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	
8	9	10	11	12	13	
15	16	17	18	19	20	
22	23	24	25	26	27	
29	30	31				

4月						
月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	
5	6	7	8	9	10	
12	13	14	15	16	17	
19	20	21	22	23	24	
26	27	28	29	30		

システム保守・学内工事等のために変更する場合がありますのでご了承下さい。
掲示板・図書館のホームページでご確認ください。

冬期・春期 休み中の図書の貸出について

貸出できる図書の冊数は変わりません。製本雑誌の貸出はできません。

冬休み長期貸出の受付は、12月1日(月)から開始します。返却期限は1月10日(土)

春休み長期貸出の受付は、2月2日(月)から開始します。返却期限は4月17日(土)

卒業予定者は3月15日(月)までに返却してください。

「吉原細見」のこと

小林 勇（総合文化学科教授）

日本史上最も長期にわたる定期刊行物は何であろうか。それは多分役者評判記である。定期刊行物化したのは元禄十二年（1699）以後で、明治二十年代（1887～96）までは毎年二回の刊行が続いたというから、約二百年に近い。それに次ぐと思われるのが表題に掲げた吉原細見である。定期刊行物化したのは享保十七（1732）、八年頃のものであるが、これも明治二十年代頃までほぼ定期的に年二回刊行されており、約百六十年ほど続いている。明治維新以来現在まで百四十年足らず、近代の定期刊行物はまだ年数的にこれらを追い越すことは出来ない。

吉原細見とは何か。一言で言えば吉原で遊ぶ人のためのガイドブックのようなものであるが、細かい遊びの作法（公許の遊廓である吉原ではこれが結構やっかいである）などは一切書かれていない。そんなことは分かっている人を対象に、吉原の各町ごとに遊女屋を列記し、遊女屋ごとにその見世に現在居る遊女の名前

（源氏名と呼ばれる優雅な名前）を列挙したものである。各遊女の名前の上に印があり、それがその遊女の揚げ代を示している（無印も一定の揚げ代を示す）。その他の部分も何かの店名や人名の羅列で、当時の文人の手になる序文を除けばおよそ文学的とは程遠い、それだけを見れば無味乾燥とも言える本であるが、江戸の町では隠れたベストセラーで出版権を持つ版元には重要な収入源であった。ただその性格上新しい版が出れば前の版は不要となり、多くは処分されてしまって後世に残りにくい。十八世紀の細見などは稀少本である。

さてこの吉原細見が本学の図書館にある程度まとまって所蔵されているのである。このことは世間では恐らく全く知られていないであろう。何しろ学内でもその存在はほとんど知られていないのであるから。時期的には文化二年（1805）のものが最も古く、幕末期を中心に、明治十六年春刊行（表紙に張られた紙片による）のものまで、計四十

二冊。十九世紀のものばかりで年代的にも欠落があり、保存状態も必ずしも良いわけではないので、誇るに足るコレクションとまでは言えまいが、一方でこの程度でもまとまって吉原細見を所蔵する図書館というものもそう多くはないのではないだろうか。無味乾燥などと書いたが、細見が吉原を知るための最も根本的な資料であることは疑いもない。せっきくの資料がほとんど知られないままになっているのが惜しくて紹介の筆をとった次第である。

さて以上でこの文章の能事は終わるのであるが、余白に若干の感想を書きとめておきたい。明治期の細見は四冊あるが、そのうちの二冊が遊女の源氏名の横に本名を書き添えていることについてである。本来遊女は源氏名によって虚構の楽園の主人公たり得る。本名を記すことは彼女が貧家の娘であるという事実を示すことに他ならない。吉原における「近世」と「近代」の差は、こんな細かな点にも伺われるように思うのである。

図書館利用のために Q&A貸出編

貸出について意外と知らないことないですか？

Q 本を返すときはどうしたらいいですか？

A カウンターの返却ボックスへ入れてください。閉館中は図書館玄関前のブックポストへ入れてください。書架へ直接戻しても返却したことになりません。

Q 本を返すのが遅れました。

A カウンターの係員に渡してください。貸出停止期間をお知らせします。借りている本を期限までに返さないと、ペナルティがつきます。返却した日から延滞日数だけ新たに本を借りることはできません。延滞(期限を過ぎてても借りていること)が続けば、貸出停止期間が長引きます。くれぐれも注意してください。



Q 読みたい本を誰かが借りています。いつ借りることができますか？

A 予約をしてください。予約をすれば、本が返却されたとき優先的に借りることができます。予約したい本の登録番号(0から始まる7桁の数字)を控えて、カウンターにライブラリーカードを提示してください。

Q 借りている本をまだ読んでなくて、返却期限までに返せません。どうしたらいいですか？

A 継続貸出ができるのを知っていますか？貸出期間中に読み終えて欲しいのですが、もう少し借りたいときには手続きの日からさらに2週間(院生4週間)借りることができます。返却期限内に借りている本とライブラリーカードを持って、カウンターで「継続貸出をお願いします」と伝えてください。すでに予約されている場合と長期貸出のあとは継続手続きはできません。

Q 雑誌『児童心理』の最新号を借りることができますか？

A カレント雑誌(製本していない最新のもの)の貸出は残念ながらできません。雑誌の最新1年分は1階の閲覧室雑誌コーナーに配架しています。館内閲覧または必要な部分のコピーで利用してください。

図書館でコピーするには
前もって生協でコピー用のプリペイドカードを1枚1000円で購入してください。
図書館では現金コピーはできません。カード1枚で100枚のコピーができます。

EBSCOhost データベース利用説明会のご案内

今年から導入したEBSCOhostデータベースの講習会を行います。カウンターにお申込ください。

参加対象：専任教員・大学院生

日 時：2003年11月26日 午後4時15分～5時15分

場 所：図書館2階マルチメディアルーム

講 師：EBSCOhost Japan からの派遣講師

参加人数：15名(申込先着順)

私は、早朝、森林公園を約一時間かけて散歩してから出勤するのを日課としています。色々考え事を巡らせて歩いていると、木や草の姿や色や匂いは、体中の血を暖めながら、逆に気持を落ち着かせてくれます。

図書館でも本から、木々と同じインスピレーションを感じることが、よくあります。背のタイトルを目で追っただけで、散策コースに足を踏み入れ、手に取ると木の幹に触れる思いがするのです。昔整理した本が何も変わらずにここに有ります。今は時間がないけれど、又もう一度あるいはいつか必ず読もうと思う本がたくさん有ります。昔読んだ本からの問いかけに、今の私ならどう答えるだろうと、読む前から一生懸命考えてしまうのです。書庫は階それぞれに景色が異なります。伸び盛りの二階は、まだ若木ばかりの、本も隙間も白々と明るい空間です。カバーをはがせば表紙は白いボール紙という簡易装丁の本が多くなりました。軽便で読みやすそうではありますが、包み紙をはいだ観光地みやげとイメージが重なります。その点、三階書庫は、いかにも雑木林然として、私の好きな場所です。本の一冊一冊がナラやシイやブナの本一本一本のように思えて、古い重い本が大変美しく見えるのです。それから、一階書庫には奥の奥があるのですが皆さんご存知でしょうか？日本から東洋、英米へと続く楽しい文学コースですが、案内入った事のない人が多いようで秘境化しています。カウンターの後ろの奥ですから、一度探検してみてください。

図書館周囲の落葉樹も毎日その姿を変えて行きます。今年の夏、少しだけ枝払いをしました。正面のケヤキの冬姿が楽しみです。



貴重書展示会のお知らせ

日 時： 2003年11月17日(月)～28日(金) 午前9時～午後5時 (土曜日を除く開館日)

場 所： 図書館玄関ホール

当館には、雑誌創刊号のコレクション(全 290点 寄贈)があります。

その中から6点ばかりを厳選して展示します。櫻井武次郎教授(国文学科)に解題をお願いしました。ぜひご来館ください。

図書館往来 2003年7月 - 2003年10月

7月	夏休み長期貸し出し開始 1日 図書館HPリニューアル 1日 兵庫県大学図書館協会総会(宝塚造形芸術大学) 3日
8月	大学図書館司書主務者研修会 (京都新都ホテル) 27～29日
9月	大学図書館研究集会(早稲田大学) 19日 医中誌 Web 説明会(デジタルリウット 大阪校) 29日
10月	国立情報学研究所大学図書館等関連事業説明会(キャナルシティ京都) 3日 2003年度第1回阪神地区研究会(国立国会図書館関西館) 6日 兵庫県大学図書館協議会研究会(関西学院大学) 24日

編集後記

図書館に、この4月に新人がはいりました。昨年の卒業生です。アルバイトの学生さんも年間のべ10人働いてくれています。若い女性たちの感性が図書館に新風とエネルギーをくれます。バイト同士で新しい交流が生まれたりして、楽しく働いてもらっています。(淳)

神戸親和女子大学附属図書館ニュース SHINWA LIBRARY NEWS

編集・発行 神戸親和女子大学附属図書館・
〒651-1111 神戸市北区鈴蘭台北町 7-13-1
お問い合わせは library@kobe-shinwa.ac.jpまで

TEL: 078-591-3595
FAX: 078-592-9517
<http://kswlib.kobe-shinwa.ac.jp/>